

# 地域連携をテーマにしたエディトリアルデザイン教育プロジェクト

## 「神田・神保町のカレー」地域情報冊子デザイン

家政学部 建築・デザイン学科 デザインコース

### 目的

建築・デザイン学科デザインコースでは、「地域のモノ・コトを伝える」をテーマに、地域情報冊子をデザインするグラフィックCG演習Ⅲを設けている。エディトリアルデザインにおけるプロセス(企画・取材、撮影、テキスト作成、デザイン・レイアウト、出力、製本)を経験し、制作課題に取り組むことで知識と技能の習得するものである。

今期は、トレンドに敏感な若い女子大生の感性と視点を盛り込んだ冊子を、「神田・神保町のカレー」を題材に制作し、学内外で配布した。冊子の制作・配布の目的は、共立女子大学の学生および若い女性が、神保町地域のヒトやイベントに関心を持ってもらい、神保町周辺を回遊するきっかけになることにある。

### 研究内容・結果

本プロジェクトは、建築・デザイン学科デザインコース グラフィックCG演習Ⅲ(2019年度 後期15回)の演習にて実践した。28名の履修学生が5チームに分かれチームで以下の取材内容を盛り込む冊子(A5サイズカラー16ページ)を制作した。

- 神田カレー街活性化委員会 委員長 中俣拓哉氏 講演
- 神田カレーグランプリ2019
- 神田神保町のカレー4店(喫茶プベ、ガヴィアル、CAFÉ HINATA-YA、三燈舎)
- 神保町周辺5大学学食カレー(大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学)
- 共立女子大学 家政学部 食物栄養学科 深津佳世子教授のカレーレシピ

地域現場の声を大切に、冊子のコンセプト立案、取材、撮影、編集、デザイン、出力、製本を学生が中心となり取り組んだ。Project Based Learningおよびアクティブラーニングの様式を取り入れながら、地域連携型プロジェクトとして実践した。

5チームのデザイン作品の中から1つのデザインを精選し、デザインのブラッシュアップ作業、入稿、色校正など、下版するまでの工程を2月に学生有志と教員・助手で行い冊子「カリコレ」2000部が完成した。

### 考察・まとめ

冊子「カリコレ」は、2020年3月下旬に完成し、本学内および学外に設置・配布を展開する。

学外においては、取材したカレー4店(喫茶プベ、ガヴィアル、CAFÉ HINATA-YA、三燈舎)の他、神田カレー街活性化委員会のご協力により設置・配布を行う。今後、新入生をはじめとする共立女子大生の神保町地域への関心を高めるために、5チームのデザイン作品の展示を本学2号館の階段ギャラリーで行い、成果を広く公開したい。また、教育効果として本プロジェクトは、実際のデザインの現場に近い環境をつくり、PBLを実践的に導入することで、履修生の今後のキャリアに大きな経験となったと考える。

### プロジェクト構成員

家政学部 准教授 田中 裕子(代表、全体運営管理、デザイン指導)

文学部 教授 深津 謙一郎(監修)

家政学部 助手 八木 こはる(進行アシスタント、出力、撮影)

家政学部 建築・デザイン学科 デザインコース3年次配当CG応用履修生(28名)

### 授業の様子



チームでの話し合いの様子



「取材の準備」招聘講師 小野梨奈氏によるワークショップの様子



「文章作成の心構え」文学部 深津謙一郎教授によるワークショップの様子



神田カレー街活性化委員会 委員長 中俣拓哉氏による講演の様子



家政学部 食物栄養学科 深津佳世子教授 取材の様子



神保町周辺大学学食カレー 取材の様子(写真は法政大学)



神田神保町のカレー4店 取材の様子(写真はガヴィアル)



神田カレーグランプリ 取材の様子



最終講評回 発表の様子



「CAFÉ HINATA-YA」さんに、完成した冊子「カリコレ」をお届けしました



「カリコレ」 カレーで“魅せる”神保町

コンセプト:カレーの魅力伝えるカレーコレクションブック  
冊子2000部が完成し、学内外で配布



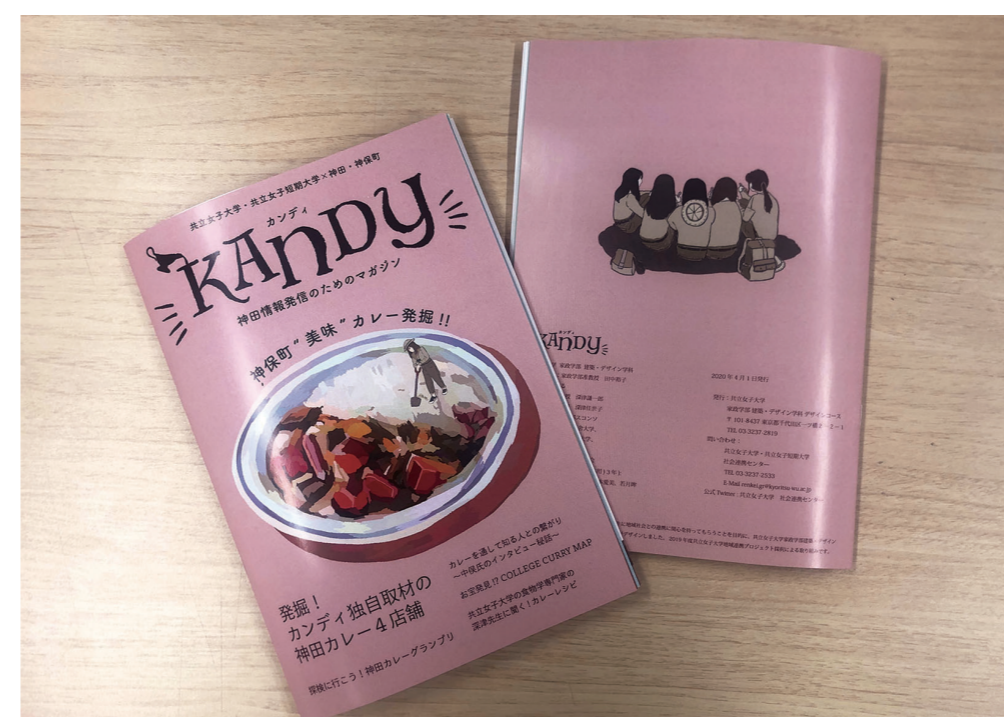
「Balade」 神保町を食歩く

コンセプト:神保町を食歩く感覚で楽しむレトロかわいい冊子



「カレー簿」 読む&書くで自分だけの一冊に

コンセプト:自分だけの神保町カレー記録簿を作るう



「KANDY」 神保町“美味”カレー発掘

コンセプト:探検感が溢れる神田情報発信のためのマガジン



「Curryholic神保町」 見つけるあなたのお気に入り

コンセプト:カレー大好き女子大生のSNS風冊子